家庭教師のもりた　授業方針　～高校生～

大きく分けて３パターンに分けて説明します。

①国公立大を志望の場合

国公立大の一般受験では、共通テストで主要５教科+情報の筆記試験があります。

当方の指導可能教科は以下になります。

数学（Ⅲ・C 指導可能）　英語　化学基礎　物理基礎　化学　物理

小論文（2 次試験のみ）　古典（定期テストのみ）

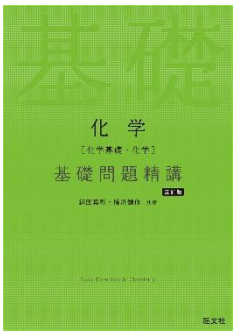
よって、共通テストにおいては、**国語、社会、情報、生物関連、地学関連**は指導不可です。これらの教科については、自力、もしくはその教科を指導できる別の塾や家庭教師でまかなっていただくことになります。

共通テストで点数を取るためには、学校の授業で習う基礎を身に付けることはもちろん必要ですが、出題傾向は定期テストとは全く異なり、独自に対策が必要です。１，２年は共通テストを解くための基礎を養い、３年に上がればより受験を意識した内容で行います。

１・２年生　　３年生　　１０月　　１月以降

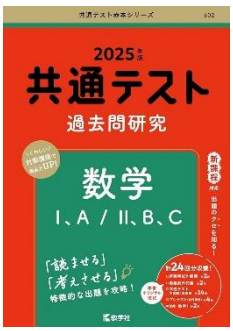


定期テスト対策も兼ねた基本的な教材で受験に備える



１ランク上のテキストでさらに下地を作る





共通テスト過去問及び予想問題で本番に向けて徹底対策



２次試験対策や私大対策

定期テスト近くの時期には学校教材を使った授業をすることがあります。

総合型選抜を受験する場合も、一般受験を受けることになった時のための授業をしていきます。当方では「面接練習」「志望理由書の確認」など推薦入試に関する指導は、**毎週の授業の中では一切行いません。**学校でもそういった指導を行いますのでそちらをご活用お願いいたします。ただし、学校の指導だけでは不安な場合などはご相談ください。授業時間と別に、無償で行います。

総合型選抜で筆記試験を課す場合（東北大の総合型Ⅱ期など）はもちろん対策は致します。

②私立大を一般受験、または筆記試験のある公募推薦で志望の場合

3 年 10 月前までは①とほぼ同様です。10 月以降は志望の私大の過去問やそれと似たレベル、傾向の他大学の問題などに取り組んでいきます。

筆記試験のある公募推薦を志望の場合、受験日の関係上、7 月の夏休みに差し掛かる時期に過去問指導にシフトします。

③私大の学校推薦型選抜を志望の場合

私大の学校推薦型選抜では、学内選考で選ばれればほぼ受かります。(「公募」ですと話は別です。ご確認を）学校推薦型選抜では、ほとんどが面接のみ、もしくは面接と小論文のみ、といった具合に筆記試験は課されません。学内選考には評定が関係する場合が多いので、定期テスト対策はしっかりと行っていきます。学内選考に選ばれた後も、大学入学後のための基礎固めを行っていきます。①に記載した通り、推薦入試に関する指導は、**毎週の授業の中では一切行いません。**

教材は、状況を見て決めさせていただきます。導入する場合は、SPIRAL などの定期テスト対策用教材を使っていきます。(学校教材で十分な場合、むしろ学校教材に特化した方が定期テストの得点が見込める場合などもあり得ます)